

日時：平成26年10月1日（水）16:00～18:00
場所：中央合同庁舎4号館4階 第2特別会議室

資料2



内閣府：共助社会づくり懇談会メンバーによる意見交換会（第6回）

活力ある共助社会に向けて、教育・学生への意識付け
信州大学のユニバーシティ・エンゲージメント

信州大学 地域戦略センター
林 靖人

これまで

1. 信州大学の成り立ち・地域の位置づけ
2. 信州の地域環境と繋がった研究活動の展開
3. 様々な支援組織との連携と評価

これから

4. 信州大学の地域連繋活動を次のステージへ
5. 地（知）の拠点整備事業「信州アカデミア」
6. 活動の課題と広がりに向けて

1. 信州大学の成り立ちと 大学にとっての地域の位置づけ

学長

信州大学長 山沢 清人



昭和45年 3月 東北大学大学院工学研究科
(電気及通信工学専攻)修士課程修了
平成 5年10月 信州大学工学部教授就任
平成18年 6月 信州大学工学部長就任
平成21年10月 信州大学長就任

現在

学部構成

人文学部	1学科	人文科学研究科
教育学部	4課程	教育学研究科
経済学部	2学科	経済・社会政策科学研究科
理学部	6学科	理工学系研究科
医学部	2学科	農学研究科
工学部	7学科	医学系研究科
農学部	3学科	総合工学系研究科
繊維学部	4学系	法曹法務研究科

大学院構成

数値資料

学生数 (H26.5.1)		教職員数 (H26.5.1)	
学部生	9,199	教授	338
大学院生	1,827	准教授	310
計	11,026	講師	72
留学生数 (H26.5.1)		助教	326
学部生	129	助手	6
大学院生	116	教諭	111
聴講生等	55	事務職員等	1,358
計	307	計	2,530

外部資金など		
区分	平成25(24)年度	
	件数	金額 (千円)
民間等との共同研究	407 (359)	484,103 (415,250)
受託研究	524 (502)	1,158,545 (1,613,310)
寄付金	1,184 (1,197)	843,429 (899,163)
計	2,115 (2,058)	2,486,077 (2,927,723)

- 信州独自の気候・風土の中で育まれた歴史、文化、産業の体系化、高度化が信州大学の起源
- 松本、伊那、佐久、善光寺の4平野、10地域(広域)を「学」によってまとめ、信州として総合力を発揮
- 信州を活かし、信州を生かす産学官民の連携が基本

信州に広がる五つのキャンパス



- 広域配置キャンパスによる全県への対応
- 9学部・総合大学として全学的な活動へ

- 日本の山村風景を形成する「中山間地域」が多数
…村の数、農家数、長寿 「日本一」
- 雄大な自然環境をテーマに文化・芸術も発展
…美術・芸術館・博物館、公民館等の数 「日本一」



- 精密機械工業の発展：諏訪エリアは「東洋のスイス」
時計・光学機器等の発展 → 現在は電子・情報通信機器
- 日本酒、ワイン、味噌・醤油、漬物等の「醸造・発酵」等
保存・食品加工技術の蓄積
- 晴天率が高く、冷涼・寒暖差のある気候を活かした高原野菜や
果樹栽培が盛ん（近年ではワイン用ブドウの適地に）



信州大学ビジョン2015-アクションプラン

Vision 2015 Action Plan

オンリーワンの魅力あふれる地域拠点大学をめざして

信州大学は、著しい変容を見せる近年の社会状況の中で、国内外の動向を展望し、「理念と目標」のもとに「信州大学ビジョン2015」を取りまとめ（2008年1月）、今般、このビジョンの実現を目指してアクションプランを策定しました。（2009年1月）

本学は、大学を取り巻く内外の厳しい環境を飛躍への機会としてとらえ、歴史と立地条件を活かし、信州ならではの我が国唯一の教育研究領域を開拓します。

個性豊かな学部が協働し、総合力と相乗効果を発揮させ、教育研究にキラリと光る特色をもたせ、地域とともに成長し、世界へ飛翔する「オンリーワンの魅力あふれる地域拠点大学」をめざします。

教育
研究
地域貢献
大学経営

オンリーワンの魅力あふれる
「地域拠点大学」をめざして